

# 安楽寺だより 第18号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話：03-3451-1509 FAX：03-3798-2238

発行者：藤澤 克己（安楽寺住職） ホームページ：<http://www.anraku-ji.org/>

（安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月の各15日に発行します）

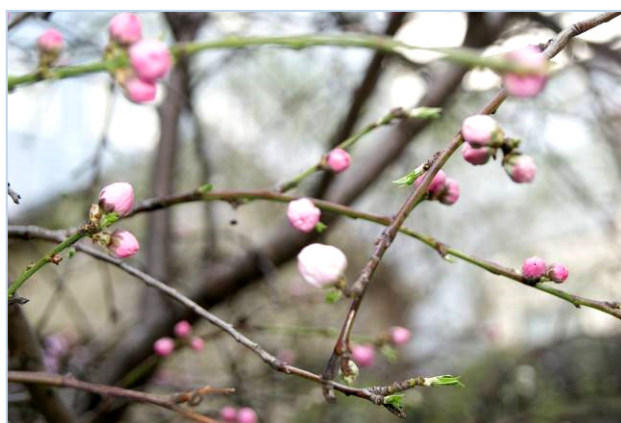
## 春光うららかな季節となりました

いつしか葉桜の季節となり、のどかな春の陽射しを心地よく感じます。みなさま、お変わりなくお過ごしでしょうか。

春というと、私はなぜか「小川」を連想します。それは、ふとしたときに懐かしいメロディを耳にしたのがきっかけでした。

♪春の小川は サラサラ行くよ  
岸のすみれや れんげの花に  
すがたやさしく 色うつくしく  
咲けよ咲けよと ささやきながら

子どもの時分には意味もよく分からないまま歌っていた気がしますが、改めてその情景を思い浮かべながら口ずさんでみると、ホンワカと温もりを感じることができます。「サラサラ行く」とか「すがたやさしく」といった言い回しが素敵だと思いませんか。



「忙」という字が「心」を「亡くす」と書くように、忙しく毎日を送っていると、せっかくの「春」に気付けないまま過ぎてしまうかもしれません。

ぜひ、春を唄った童謡の世界を思い出し、しばらく忙しさから離れるようにしてみてください。きっと「今」の季節を堪能することができると思います。

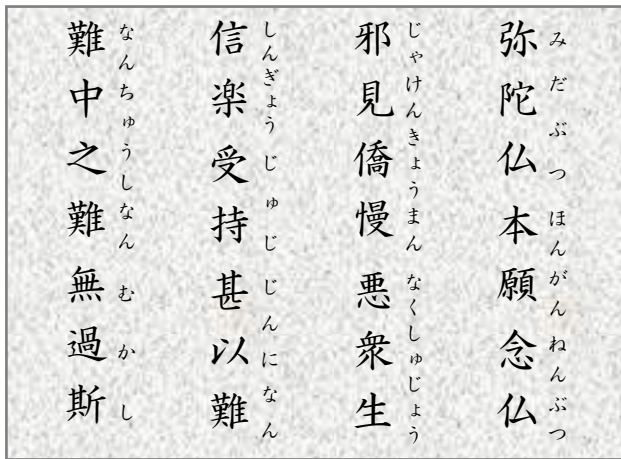
### 《あれこれ抄》

▼春の「安楽寺だより」をお届けします。▼4月から消費税が増税されました▼安楽寺だよりをお届けするのに切手八十二円を貼らせていただきます▼電車運賃の改定ではIC料金が1円単位になると知り驚きました。▼春の選抜高校野球で初優勝した龍谷大平安高校は西本願寺の宗門校です▼「野球ができるのは自分だけの力じゃない。感謝の気持ちを持ちなさい」と説く監督のエピソードが印象に残りました。▼おかげさまで前任職は八十四歳、住職は五十三歳の誕生日を無事迎えることができました▼恒例のボーリングに出かけたところ、なんと前任職はここ数年のベストスコアをまた更新しました。▼花粉症の季節がようやく終わりで、そうしてホッとしています。

# 春の彼岸会法要をお勤めしました

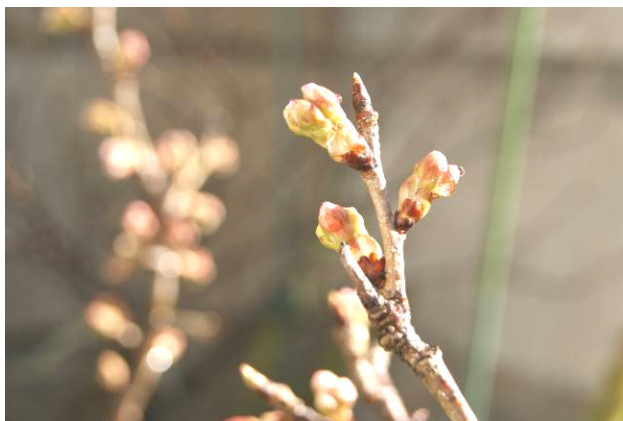
去る 3 月 21 日、春分の日(お彼岸のお中日)に春の彼岸会法要を執り行いました。

まず、正信偈を一緒に大きな声でお唱えし、続けてお経本 1 頁分のお言葉をいただき、共に味わう時間を持ちました。



「阿弥陀仏の本願による念仏の教えは／邪な考えをもち驕りたかぶる人々には／信じることが甚だ難しい／難の中の難でこれ以上に難しいことはない」という意味です。

## 《季節の思い出》



つぼみの膨らみが春の訪れを告げました (3月上旬)



鉢植えの桜が可憐な花を咲かせました (3月中旬)



水鉢のメダカは楽しげに元気に泳いでいます

今年 2 月には記録的な大雪が降りました！

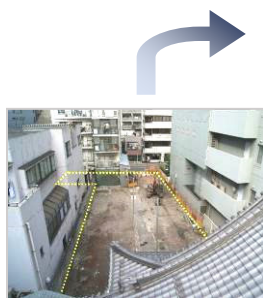


参道のボタンは大輪の花を咲かせてくれそうです (4月下旬が見ごろです)

## 隣接地のマンション工事が始まりました

墓地参道横(ブロック塀向こう側)が更地になり、15 階建てマンションが建設されるという計画はすでにお伝えした通りです。

今年 1 月から工事が始まり大きなクレーン車など重機が使われるようになりました。本堂に悪影響が出ないように、寺の行事に支障がないように、工事責任者とは連絡を密にとるようにしています。



(昨年 10 月)



(今年 3 月)

## お釈迦さまのお誕生日 (花まつり)



4 月 8 日は「花まつり」です。今からおよそ 2500 年前、インド国境近くのネパールの地、「ルンビニーの花園」でお生まれになりました。「花まつり」として

お祝いするのはこのためです。

また、夢で白い象が胎内に入るのを見てお母さまのマーヤ夫人は懐妊したそうです。それで花まつりにお釈迦さまを乗せた白い象が登場するのです。

お釈迦さまはお生まれになってすぐ七歩を進まれ、右手で天を、左手で地を指差し「**天上天下唯我独尊** (てんじょうてんげがどくそん)」と宣言されたと伝えられています。これは「人は誰もがかけがえのない尊いのちを生きている」という仏教精神の表れです。

お釈迦さまが宣言されたのと同じように、私たちが皆、誰にも代わることのできない、かけがえのないのちを生きているということを、忘れずに過ごしたいものです。

「花まつり」に思いを巡らせてみました。

### 【書籍紹介】 (ご門主在任中最後の著書です)

## 『いまを生かされて』

(文藝春秋社・大谷光真著・1200 円+税)

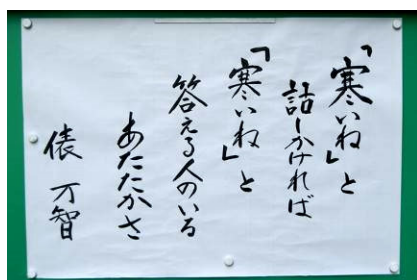
親鸞聖人が作られた「三帖和讃」(浄土・高僧・正像末)を手がかりに、この息苦しい時代にはかに生きるべきかをご門主が説いてくださっています。

「私も同じ苦悩するものだ。しかし嘆くことはない。仏の温かなまなざしに気づいたなら、必ず人生は転換される」という親鸞聖人のメッセージが伝わってきます。

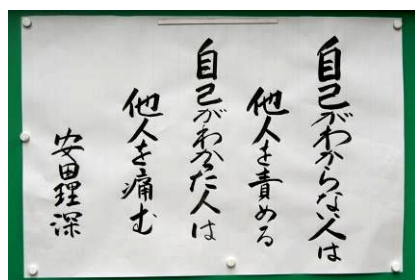


## 月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

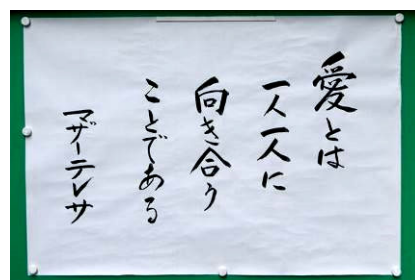
お寺の入り口に、その時々々の伝道の言葉を掲げています。(1か月毎)



2014年2月



2014年3月



2014年4月

## 本願寺で予定されている行事



西本願寺 (京都)

6月5日～6日に「法統継承式」が執り行われます。第24代ご門主が退任され新門さまが第25代ご門主を継承されます。



築地本願寺 (東京)

来たる6月29日～30日に築地本願寺にて「親鸞聖人関東伝道 800年慶讃法要」が執り行われます。

1214(健保 2)年に親鸞聖人が越後から関東にお越しくださいました。今年でちょうど800年となります。聖人が関東の地でみ教えを弘めてくださったことを共々にお慶びさせていただきます。法要です。

## 永代経法要のご案内

日時: **5月10日(土)** 午後1時～

お勤め: 仏説阿弥陀経

ご法話: **山本 昭淳 師**

(長玄寺副住職)



昨年引き続きお迎えする若手布教使です!

・始まる前にお斎(おとき・食事)を用意していますので、少し早目にいらしてください。

## お盆のお参りについて

東京近郊のお盆の行事は7月15日を中心に行われます。新盆(初めて迎えるお盆)のお宅を中心に住職がお参りさせていただき、お仏壇の前で一緒にお経を勤め、お荘厳やお盆のいわれについてお話をしております。

毎年の行事ですので、一緒にお参りをご希望の方はお早めにお声掛けください。

## 「定例法話会」の今後の予定(毎月**第3日曜日** 午後3時～)

伝道掲示板の言葉をもとにお話させていただきます。いつでもご参加ください。

**4月20日(日) 5月18日(日) 6月15日(日)**